

上宮寺通信

第二十三号

いまどきの若者は…

高齢者向けのワクチン接種がようやく始まったものの、新型コロナウイルスの感染拡大は止まらず第4波がやってきています。愛知県でも「まん延防止等重点措置」が実施されることとなり、さらなる飲食店の時短営業や不要不急の外出の自粛が求められています。

しかし、このような状況でも昨年4月の緊急事態宣言時と比べると、繁華街の人出はあまり減ることがないようです。テレビのニュースでも「こんなに多くの人が出ています」と街中の様子が映し出されています。ときおりインタビュで「たくさんの人が出ています」

が、どうですか？」と街を歩く人にマイクを差し向ける画面が出てくるのですが、「こんなにたくさんの人がいるなんてびっくりです。これでは感染は収まらないですよ」と、さも他人事のようにびっくりした様子の声。

テレビを前にして「あなたも、そのたくさんの人の中の人ではないですか？」と思わずツッコミを入れてしまうのは私だけではないでしょう。

人というのは、なかなか自分のことが見えません。本願寺第八代の蓮如上人も「人のわるき事は、よくよくみゆるなり。わがみのわるき事は、おぼえざるものなり」(『蓮如上人御一代記聞書』)と、自分のことを棚に上

げて人の悪いところばかりに目がいく私たちの姿を言い当てています。

先日、会合があった際、休憩時間に知人と雑談していたら「いまどきの若者は…」という話題になりました。目上の人に対する態度、電話での話し方、気配りのなさ…等々、最近の若者はどうなっているんだ！というような口調で愚痴を言っています。私も思うところがあり、その場ではついつい同調してしまいました。

「いまどきの若者は…」というのは、約五千年前のエジプト人も言っていたそうです。自分のことを棚に上げ、他人を非難するという人間の本质は、今も昔も変わらないということでしょう。

ただ、蓮如上人はそのあとに「心中を改むべし」と続けられます。他人を非難することは簡単なことです。その非難する言葉を自分に引き当て、自分はどうなのかと問い直すことが大事なことなのだと思えます。



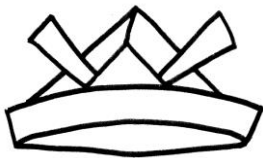
◆話題あれこれ

お仏壇の真ん中に安置されている仏様は何という仏様か知っていますか? そんなこと知っているわ! と怒られるかもしれないませんが、仏様のお名前は「阿弥陀仏」です。

よくお仏壇は亡き方々の位牌を安置するところであって、中の仏様は付属品のような感じで考えておられる方もいますが、お仏壇の中心は阿弥陀仏なのです。

私たちに「真実に目覚めよ」とはたらきかけてくださるのが阿弥陀仏。その阿弥陀仏のはたらきを助けられ、私たちに仏壇の前に座わるようにうながしてくださるのが仏様となつた亡き方々なのです。

○4月の始め、京都・東本願寺の「春の法要」にお参りに行ってきました。コロナ禍で参詣者も少なく、とても寂しい法要でした。この法要が終わってから、御室桜が見ごろを迎えていた仁和寺へ足を伸ばしました。こちらにも参詣者が少なく、でも、おかげでゆつくりと観ることができました。参詣者が少なく寂しく感じたり、良かったと思ったり、私の心は勝手なものです。



○紙面の関係で不定期ではありますが「仏事のギモン?」コーナーを作っていきたいと思っています。こんなことを聞いてみたいと思うことがありましたら、ぜひお聞かせください。また、個別の相談も大丈夫ですのでお尋ねください。

○名古屋市中では今月11日まで「まん延防止等重点措置」が実施されることになりました。東京都や大阪府、兵庫県、京都府には3回目の「緊急事態宣言」が出ました。愛知県に再発出されないように、いま一度、感染予防をしっかりとしていきたいですよ。

○これからだんだんと暑くなつていきます。体調には十分お気をつけください。

【雑感】

先日、栄で開かれている「金シャチ展」を見てきました。なるべく人の少ない平日の昼過ぎに出かけたのですが、結構な混雑ぶり。「金シャチ」に実際に触ることができのですが、順番が回ってくるまで30分ほど並ぶことに。でも間近に見たのは初めてでしたし、その迫力とピカピカと金色に輝く姿は一見の価値ありでした。「シャチ」が輝くといえばサツカーの名古屋グランプスが好調ですね。ドラゴンズもがんばってほしいのです(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金一丁目十九番十五号

☎052-871-0547